

# 市民 談義

ニュース 第1号  
2022年12月発行

2022年10月22日(日)に、三田駅前のキッピーモールにて、松が丘小学校区のこれからのまちづくりについて、地域住民が自由に話し合う市民談義を開催しました。市民談義では、おふたりのゲストスピーカーを招き、他地域でのまちづくりの事例についての話を聞き、その後、参加者全員で意見交換を行いました。

ひとりめのスピーカーは、神戸市西区井吹台自治会連合会会長の坂本津留代さんです。坂本さんのお話で、井吹台では阪神淡路大震災を経験して「災害時は自分たちで動かない」という意識が醸成されたとのことでした。その後は、市民リーダー研修を地域住民が自前で開催して人材を育成しています。自治会活動の担い手については、地域の様々な人に「一緒にやろう」「あなたの力が必要」と声をかけることが大切だと坂本さんは語りました。また井

吹台では、ジュニアチームをつくって、子どものころから地域活動のなかで大人と触れ合う機会を創出しています。そのことが、ふるさと意識を育み、実際にまちに帰ってくる人が多くいるとのことでした。

ふたりめは、志手原校区地域農業を考える会メンバー兼三田市市民活動推進プラザ施設長の清水浩一さんです。清水さんは、自身が他の地域から志手原に来て農業を営むようになった経験をふまえて、地域での活動の展開や広報のあり方などについて話しました。清水さんは、農への関わり方には様々な選択肢があると語ります。また、地域外の人に向けて、その地域に住む魅力的な「人」そのものにフォーカスをあて、情報を発信しています。そのうえで、地域内外の人が適切に交流する機会を設けることで、農業や地域活動への考え方が柔軟になり、新しい展開が期待できるようになるとのことでした。

## 松が丘小学校区のまちの魅力と課題について意見交換

市民談義の後半は、ゲストスピーカーのおふたりも含めて、参加者全員で松が丘小学校区の地域の魅力と課題について、3つのテーブルにわかれて意見交換を行いました。各テーブルの意見から共通してみられたのは、「担い手」「地域活動の運営」「環境のよさ」についての意見でした。

地域活動の重要な担い手として、定年退職を機に地域活動に参加する人が考えられます。また、上の世代が、農業や地域活動にかかわらず、楽しんでいる姿をみせることが大切だという意見もありました。地域活動の運営では、現在すでに行われている取り組みの情報発信、さらに頑張っている人を表彰する制度の創設が提案されました。また多くの参加者が地域の魅力として認識していたのが、川や山、公園がある豊かな住環境です。「地域の花壇がきれいいて景観がよい」「川除の農村景観は活かすことのできる資源」といった意見もありました。農家や学生ともタイアップしながら、地域資源を活かしたプロジェクトの推進や、PRを行うことも今後検討していくことになりました。



談義のようす



模造紙に出された様々な意見

# 意見交換で出たすべての意見

魅力  
価値

課題

提案

## 景観・環境

電車から見える景色がきれい

昔はれんげ畑がきれいだった

景観がきれい

川も山も公園もある

ドジョウやメダカなどもいる

## 担い手

特技をもった人が沢山いる

クリーンデイが高齢者に負担

自治会の役員、後継者のなり手がいない

担い手不足

特技を持った人や若い世代の発掘

声掛け(連携)

## 地域活動の運営

ともじいの会が地域の清掃

1人で地域清掃している人がいる

ウォーキングをしている人が多い

自主的に花壇の水やり

自治会を脱退するが、協力は増えている

書道クラブがある

ゴミ袋を配布している

地域活動の減少

役員の交替が早い、役割の重複

頑張っている人を称賛する、感謝

自治会脱退者の増加、加入率の低下

地域活動への参加率

一定の年齢で地域活動の参加を任意にする

役割分担の明確化

役員交代のスライド化

仕組みづくり

住んでよかったと思える地域

## 交通

移動販売車が来ている

安全な移動手段、買い物手段

## 人口

転入者もいる

地域に子供が少ない

## インフラ

空き家の管理

1人暮らし高齢者の増加

木の根で道路がでこぼこ

## 高齢化

独りで生きる不安(地域の見守る目)

高齢者が増えて人との交流が出来ていない

## コミュニケーション

自治会内でゴルフコンペをしている

大原荘園でくつろぎカフェ

月1回大原と大原荘園でふれあいお楽しみ会

軽い頼み事も辛い

近所付き合いの延長

ふれあいカフェ

男性でも来れる行事(ラジオ体操)

女性の中へ男性が参加するハードルが高い

隣近所との付き合い方

地域団体同士のつながり

顔が見える交流・イベント

## 情報発信・広報

ホームページがある

活動の存在自体を知らない

情報発信ツール

若い世代への地域のアプローチ

良い活動を広報して広げていきたい

年代に合わせた情報発信

## 連携・協働

市への協力要請

地域全員で取り組み

使えるものを使う